

著書

レプトスピラ感染症 小児疾患診療のための病態整理1 第6版 齋藤光正

2020年 東京医学社

インフル休みは常識に 産業医が診る働き方改革 齋藤光正

著者:産業医科大学編

2019年 西日本新聞社

イラストでわかる微生物学超入門 病原微生物の感染のしくみ 齋藤光正

2018年 南山堂

系統看護学講座 専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進4 感染症学 改訂13版

著者:吉田眞一、南嶋洋一、永淵正法、齋藤光正、大野真治

2018年 医学書院

日常診療に役立つ小児感染症マニュアル 齋藤光正(分担執筆)

2017年 東京医学社 p25-30(ジフテリア菌)

戸田新細菌学(34版) 著者:吉田眞一、柳 雄介、吉開泰信

2013年 南山堂 改訂第34版 p60-114(細菌の生理・生化学)

産業保健マニュアル [改訂第6版] 著者:和田 攻、森 晃爾

2013年 南山堂 改訂第6版 p303-330(14. 生物的健康障害要因とその対策)

産業保健21 谷口初美

2013年 独立行政法人労働者健康福祉機構 vol72: p24-26(感染症対策の要諦)

翻訳レビンソンの微生物学・免疫学 [原書11版] 監訳:吉開泰信、西山幸廣

2012年丸善出版 東京 p65-88(抗菌薬:作用機序、抗菌薬:耐性)

細菌性膣症・トリコモナス症・膣カンジダ症 吉村和晃、福田和正、蜂須賀徹、谷口初美

2012年, vol40, no.3 p281-287, Medical Technology.

災害被災地におけるヘドロとがれき処理に関する感染症および有毒ガス発生対策

～事業所および作業員が注意すべき事項～ 谷口初美

2012年 日本ペストコントロール協会 vol 7, no159 p7-10, ペストコントロール誌「機関誌」.

労働衛生工学とリスク管理 谷口初美 2009 年 (社)日本作業環境測定協会
第 3 編生物的有害因子のリスク管理 第 1 章生物的因子の有害発生機序 176-190
第 3 章生物因子のリスク削減、リスク管理およびリスクコミュニケーション 201-206
第 4 章生物因子にかかる緊急リスクへの対応 207-215

労働衛生工学とリスク管理 谷口初美 2009 年 (社)日本作業環境測定協会
第 3 編生物的有害因子のリスク管理 第 1 章生物的因子の有害発生機序 176-190
第 3 章生物因子のリスク削減、リスク管理およびリスクコミュニケーション 201-206
第 4 章生物因子にかかる緊急リスクへの対応 207-215

イギリス発 産業医学の ABC 南山堂 David Snashall, Dipti Patel 編 2008 年出版
訳協力 p115-p125 第 14 章職業感染、
p169-174:付録 1・2 職業関連の動物由来ヒト感染症

戸田新細菌学 改訂 33 版 吉田真一、柳雄介、吉開泰信 2007 年 南山堂 東京
6 滅菌と消毒 134-149
7 化学療法 150-180

化学物質等のリスクアセスメント・リスクマネジメントハンドブック第 1 巻
谷口初美 2007 年 (社)日本作業環境測定協会
1.2.1.1.7 労働の場における生物的因子管理の必要性および管理の対象となる因子の種類 37-40
2.1.2.2 労働の場における生物的因子による危険有害性 242-248
2.1.7 生物的因子の有害性発現機序 324-333

化学物質等のリスクアセスメント・リスクマネジメントハンドブック第 2 巻
石松維世、谷口初美 2007 年
(社)日本作業環境測定協会
4.1.5 リスク評価の実際 194-201